

二 海軍建設費

議案

海軍建設費は、海軍の発展に必要にして、政府の負担に過ぎない。海軍の発展は、国家の安全に必要にして、政府の負担に過ぎない。

農民委員会運動展開の件

(感田支部提出)

打撃く農業恐慌と戦争の中、吾々農民は文字通り、餓死線上に陥る。未便り果敢と闘い、一般日用品物價肥料、農具も高騰、戦争による税金の増徴、吾々農民は、餓死線上に陥る。

今やありゆる部落から大衆の不平不満は爆発し、大衆は一般的に自然の発生的に斗争に立ち上りつゝある。かゝる時農村に於ける多数者獲得のため、吾々は従来主義的の組合員にせられ最大任務である。

吾々は従来主義的の組合員にせられ最大任務である。吾々は従来主義的の組合員にせられ最大任務である。吾々は従来主義的の組合員にせられ最大任務である。

実行方法

吾々全口会議の組合員が中心になつて、部落に於けるありゆる不平不満、例へば道路の修繕、借金の支拂延期、鉦山被害の保証借金の支拂延期等ありゆる問題を取り上げ、組合員であるものも未組

P.2 P.1

織の者も一緒に斗争委員会又は又同盟を組織して斗争する。この場合吾々全口会議の組合員がこの斗争のハカモノを階級的に指導せねばなりぬ。

2 部落世話役活動の件

(感田支部提出)

従来部落に於けるありゆる世話事(給札佛事の世話、役場官廳の手續ケシカの仲立、手紙書の世話、借金の世話等)は大てい部落の有志共(村会議員、区長、在郷軍人の幹事等)によつて行なれて来た。そのために組合のほい処は外論のこと、組合のある処でも之等の有志家は、部落に可成の影響力を持ち、大衆の斗争心を抑へつけて来たのだ。従つて大衆が小作米減免、土地引上反対等、斗争に立ち上つてゐる間は、組合の影響力は強く大衆に喰へ入つてゐるが、斗争が終ればこれ等の有志がすぐ影響力を取り戻すのだ。

かゝる事では吾々全口会議が部落の中に於て、完全に大衆の支持を獲得する事は出来ぬのだ。部落に於ける世話役活動は有志家の手から吾々全口会議の組合員の手へ奪ふことによつて、吾々は部落から完全に地主資本家共の影響力を放逐することが出来るのだ。

さらに世話役活動を起すことによつて、部落に於ける不平不満が世話役の下に集り、吾々はそれによつて、間断なく斗争を起すことが出来るのだ。又組合を支持し下り組合に入れたい人々との密接な關係を保ち、これ等の